

水道設備を修理、より快適な公園に

2月22日 水道組合がボランティアで点検・修理

伊豆の国市上下水道協同組合が、市内都市公園の上下水道施設をボランティアで点検・修理を行いました。市内にある29カ所すべての公園で点検が行われ、そのうち9カ所を修理。皆さんの公園が、より快適に利用できるようになりました。

同組合によるボランティアは今年で2回目。理事長の飯田俊治さんは、市民のために今後も継続していきたいと話していました。



環境美化は身近なところから

3月3日 地域一斉清掃を実施

地域一斉清掃の重点地区として葦山反射炉周辺の清掃を実施し、葦山反射炉応援団と葦山南小PTA、市役所職員の約100人が参加しました。

参加者の協力のもと、回収されたごみは軽トラック1台分。紙類から空き缶、ペットボトル、廃タイヤや鉄くずまで多くのごみが集まりました。

また、清掃終了後は反射炉の見学を行い、世界遺産登録に向けての意識を高めました。

国指定史跡「反射炉」を守れ！

3月7日 合同警防演習を実施

世界遺産登録を目指す葦山反射炉の周辺で、火災発生を想定した合同警防演習を実施。田方消防本部や地元消防団、市役所職員ら約40人が参加しました。

演習は反射炉北側雑木林で火災が発生し、119番通報を受け消防隊らが出動。史跡や周辺施設への延焼拡大を防ぐため、古川を水利に放水などを行いました。

反射炉敷地内で同演習を実施するのは初。今後も関係機関の連携を深め、警防に努めます。



注目のプレゼンに200人超の傍聴者

3月10日 伝統芸能会館(仮称)建築設計提案競技

市の伝統文化と観光の拠点を目的に整備を予定している、伝統芸能会館(仮称)建築設計提案競技第二次審査をあゆめ会館で実施。一次審査を通過した5つの作品のプレゼンテーションが行われました。

同様の競技が県内で行われるのは極めて珍しく、市内外から同業者や設計士を目指す学生など200人を超える傍聴者が集まりました。

応募のあった全262点を公開する展示会を開催します。詳細は30ページをご覧ください。

ミニ大砲を作ってみよう

2月24日 世界遺産シンポジウムを開催

葦山時代劇場で世界遺産シンポジウムを開催しました。小中学生の親子を対象とした鋳物教室や、葦山反射炉に関するパネルディスカッション、講演などを行いました。

大砲作りには、キューポラ(鉄の溶解炉、左写真)での鋳鉄が行われました。鋳鉄が一般公開されるのは非常に珍しく、参加者の注目を集めていました。

※詳しくは、20ページ『世界遺産なう』をご覧ください。



- ①キューポラ(鉄の溶解炉)が時代劇場中庭に登場。
- ②親子でミニ大砲作り。鋳型を作成中。
- ③金属を使ったアクセサリー作りをする親子。
- ④てつざえもんが初お披露目。

新園舎に園児の歌声響く

2月14日 あゆみ保育園竣工式を実施

堀越保育園の老朽化に伴い移転、新築した『あゆみ保育園』の竣工式を、完成した新しい園舎で行いました。

新園舎は、葦山時代劇場東側に敷地面積約5,600㎡、鉄骨造り平屋の建物。屋根には、太陽光発電装置を設置するなど環境に配慮した作りです。

式典では、市や教育関係者ら90人が出席し、完成を祝福。お祝いを受け、これから通う園児たちがお礼に歌や遊戯を披露しました。



市内を1,462人が駆け抜ける

2月17日 伊豆マラソン大会が開催

修善寺駅北(伊豆市)から三島大社門前(三島市)の21.7kmをコースとする伊豆マラソン大会が行われ、県内外から1,462人が早春の伊豆を駆け抜けました。

選手は、澄みきった冬の空にくっきり顔を出す富士山に向かって、日ごろの成果を発揮しようと力走。市内の沿道では、懸命に走る選手に多くの市民が温かい声援を送っていました。

三福地区を駆け抜ける選手たち▶

